|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 安全主任者 |  | 安全管理室確認 |  | 安全管理室受付 | 　　　年　　　月　　日 |
|  |

遺伝子組換え実験承認申請書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　提出：　　年　　月　　日

公益財団法人高輝度光科学研究センター理事長　殿

（実験責任者）1)

所属機関の名称

所属部署及び身分

氏　　名

 　　　　　　　　　印

（所属長等）2)

氏　　名 　　 　印

　遺伝子組換え実験員会の審査を受けるために下記の実験を申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号3) |  |
| 申請の種類4) | □　新規□　継続（前回受付番号　　　　　　　 ）□　変更（前回受付番号　　　 　　　） |
| 実験課題名5) |  |
| 種類6) | □　微生物使用実験□　大量培養実験□　動物使用実験（□　動物接種実験・□　動物作成実験）□　植物等使用実験（□　植物接種実験・□　植物作成実験・□　きのこ類作成実験） |
| 目的  |  |
| 概要7) |  |
| 実験実施予定期間8) | 　　　年　　　月　　　日　〜　　　　年　　　月　　　日 |
| 実験責任者連絡先 | 住所（〒　　　　-　　　　　　）電話番号（内線／PHS）FAX番号E-mail アドレス |
| 実験責任者代理者連絡先 | 所属部署及び身分住所（〒　　　　-　　　　　　）電話番号（内線／PHS）FAX番号E-mail アドレス |
| 事務担当者の連絡先9) | 事務担当者の所属機関名及び所属部署事務担当者氏名住所（〒　　　　-　　　　　　）電話番号（内線／PHS）FAX番号E-mail アドレス |

|  |
| --- |
| 実験実施場所（動植物の飼育・栽培場所）10) ／遺伝子組換え生物等の保管場所11) |
| 建物 | 室 | 拡散防止措置等 |
| P1 | P1A | P1P | P2 | P2A | P2P | 保管 |
| 実験ホール | □BL20B2実験ハッチ内 |  |  |  |  |  |  |  |
| □BL28B2光学ハッチ内 |  |  |  |  |  |  |  |
| □BL40XU実験ハッチ内 |  |  |  |  |  |  |  |
| □BL20B2処置室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □移動式処置室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □BL38B1実験ハッチ内 |  |  |  |  |  |  |  |
| □PXBL\*実験ハッチ内 |  |  |  |  |  |  |  |
| 実験動物維持施設 | □マウス飼育室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □遺伝子実験室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □処置室 |  |  |  |  |  |  |  |
| 中尺ビームライン実験施設（実験棟） | □BL20B2実験ハッチ内 |  |  |  |  |  |  |  |
| □BL20XU実験ハッチ内 |  |  |  |  |  |  |  |
| □動物処置室 |  |  |  |  |  |  |  |
| 中尺ビームライン実験施設（研究棟） | □101号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □201号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □202号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □204号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □212号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □213号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □生化学実験室1　208号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □生化学実験室2　209号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| □生化学実験室3　210号室 |  |  |  |  |  |  |  |
| ＳＡＣＬＡ | □実験ハッチEH3 |  |  |  |  |  |  |  |
| □XFEL生物試料準備室 |  |  |  |  |  |  |  |
| 上記以外（建物名・室名を右欄　に記入） |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

 \*PXBLとはBL41XU, BL32XU, BL26B1, BL26B2, BL45XUである。

|  |
| --- |
| 核酸供与体/供与核酸12) |
| 核酸供与体 | 実験分類 | 供与核酸（核酸の種類） | 同定 | 備考 |
| （目的遺伝子） |  |  | 済/未 |  |
| （発現調節遺伝子） |  |  |  |  |
| （選択マーカー遺伝子） |  |  |  |  |
| 宿主/ベクター13) |
| 宿主 | 実験分類 | ベクター | 種類 | 備考 |
|  |  |  | 微/動/植 |  |
| 遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物または細胞等の特性14) |  |
| 遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表15) | 別紙 |
| 遺伝子組換え生物等の不活化の方法16) |  |
| 備考17) |  |

※記入上の注意

1) 「実験責任者」は、遺伝子組換え実験経験年数が1年以上の者とし、SPring-8で実際に実験に携わる者の中から選出すること。但し、学生を実験責任者とすることはできない。

2) 遺伝子組換え実験責任者の所属長の署名又は捺印をもらうこと。

3) 「受付番号」は、安全管理室が本申請書を受理した際に交付するので、申請時は空欄とする。受付番号は以後の手続きにおいて課題を特定する番号となるので、交付された番号を手元に控えておくこと。

4) 「申請の種類」については、新規・継続・変更のいずれかを選択する。継続・変更の場合は、前回受付番号も記入する。（承認された課題の有効期間が満了に伴う、実験実施期間の延長を「継続」とする。）

 本実験計画に従事する者の登録は、実験開始前の教育訓練の記録とあわせて「様式—第８遺伝子組換え実験従事者届出書／変更届出書兼教育訓練実施報告書」により行う。

5) 「実験課題名」は、遺伝子組換え実験の目的及び概要を簡潔に表すものとする。

6) 「種類」については、当該遺伝子組換え実験が該当する全ての項目を選ぶ。

7) 「概要」については、当該遺伝子組換え実験の一連の流れについて、実験段階がわかるように記載する。各実験段階における拡散防止措置についても記載すること。

8) 実験課題の有効期間は承認日より最長３年間（ただし年度末まで）である。実験の開始希望日〜終了予定日を記入すること。

9) 「その他の連絡先」については、実験責任者の不在時等に実験責任者以外に事務連絡先がある場合は、当該事務連絡先を記載すること。

10)「実験実施場所（動植物の飼育・栽培場所）」については、当該遺伝子組換え実験に係る実施場所と当該実施場所で執る拡散防止措置を選ぶ。リストにない場合は、「上記以外」の欄に建物名・室名を記入し、その実験実施場所について以下の項目を記載した説明書類を添付すること。（遺伝子組換え生物等によっては、実験実施場所が限定される場合があるので注意すること。）

①主要な施設、設備及び機器の位置（実験区画の詳細図）

②実験室、実験区画内において当該遺伝子組換え実験に関係しない動物が飼育又は植物が栽培されている場合には、当該動物の飼育又は植物の栽培の状況

11）「遺伝子組換え生物等の保管場所」については、当該遺伝子組換え実験の過程で遺伝子組換え生物等を保管する全ての保管場所を選ぶこと。リストにない場合は、「上記以外」の欄に建物名・室名を記入し、その保管場所の説明書類を添付すること。（遺伝子組換え生物等によっては、保管場所を特定する場合があるので注意すること。）

12)「核酸供与体/供与核酸」については、当該遺伝子組換え実験に係る遺伝子組換え生物等の核酸供与体/供与核酸を目的遺伝子、発現調節遺伝子、マーカー遺伝子の別にそれぞれ以下の点に留意して記載する。

①「核酸供与体の名称・分類学上の位置」については、科・属・種名等を記載し、必要に応じて系統名を記入すること。

②「核酸の種類」については、（　）内にゲノムDNA、cDNA、合成DNA等の別を記入すること。

③「同定」については、同定済または未同定の別を記入すること。

13)「宿主/ベクター」については、当該遺伝子組換え実験に係る遺伝子組換え生物等の宿主及びベクターに関し、以下の点に留意して記載すること。

①「宿主」については、科・属・種名等を記載し、必要に応じて系統名を記入すること。

②「ベクター」については、「pUC119（大腸菌用クローニングベクター）」のように、付与された記号番号の他に簡単な説明をつけること。

③「種類」については、微生物、動物または植物の別を記入すること。

14)「遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物又は細胞等の特性」については、下記に掲げる項目を記載することに加え、当該遺伝子組換え実験に係る遺伝子組換え生物等を保有していない動物、植物又は細胞等と比べて、当該遺伝子組換え実験に係る遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物又は細胞等に新たに付与されることが予想される又は付与された形質について記載すること。

①自然環境における分布状況及び生息又は成育が可能な環境

②病原性、有害物質の産生性及びその他の特性

15)「遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表」については、核酸供与体、供与核酸、ベクター、宿主等、保有動植物等の組み合わせ及び当該実験段階において執る拡散防止措置を実験の一連の流れが分かるように記載すること。

①「核酸供与体」欄には、核酸供与体となる生物の種名、系統名を記載すること。

②「供与核酸」欄には、供与核酸の種類や名称等を記載すること。

③「ベクター」欄には、ベクターの名称を記載する。なお、ウイルスはベクターとして用いる場合であっても、宿主として扱われるので、宿主等の欄に記載する。

④「宿主等」、「保有動植物等」欄には、それぞれ種名、系統名等を記載する。

⑤「拡散防止措置の区分」欄には、二種省令の別表第二から別表第五を参考に実験を実施する間に執る拡散防止措置の区分を記載する。

16)「遺伝子組換え生物等の不活化の方法」については、当該遺伝子組換え実験をする間に執る拡散防止措置に関し、当該遺伝子組換え実験に係る遺伝子組換え生物等を含む廃棄物並びに当該遺伝子組換え実験に係る遺伝子組換え生物等が付着した機器及び器具についての遺伝子組換え生物等を不活化するための措置並びにその有効性を記載すること。

17) 公益財団法人高輝度光科学研究センターとして公的経費（文部科学省科学研究費等）の交付を受けている場合、文部科学省ポジションペーパーに該当する場合、その他特記事項がある場合は、備考欄にその旨を記入すること。

別紙

遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 核酸供与体 | 供与核酸 | ベクター | 宿主等 | 保有動植物等 | 拡散防止措置の区分 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |